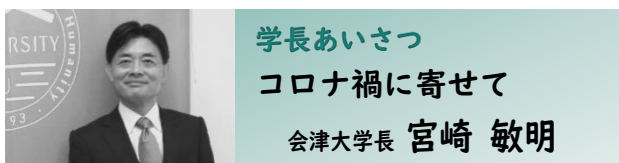


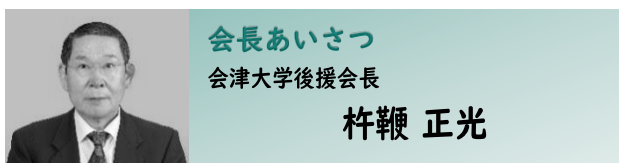
	<p>会 津 大 学</p> <h1>後援会だより</h1>	<p>第44号 発行：会津大学後援会(事務局 事務局学生課) 発行日：2020年8月1日 住所：〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀 電話：0242-37-2515 URL：https://www.u-aizu.ac.jp/</p>
---	--------------------------------	--



今年も4月から心新たに新しい大学生生活に期待を膨らませていた会津大学生も、新型コロナウイルスの感染拡大で、自宅待機を余儀なくされています。

世界中で新型コロナウイルス感染が広がっている中、会津地方では幸い一人も感染者が出ておらず、年度初めから通常通りの授業を始めることができました。しかし、政府の「緊急事態宣言」を受け4月21日から会津大学もついに休校することとなりました。

会津大学では第1学期開始時から遠隔でオンライン授業が行える体制を整えてきましたが、緊急事態の状況下、直ちにこのような対応ができていたのは、会津大学がコンピュータ理工学に特化した大学であるからです。会津大学は開学以来、学生一人ひとりが高性能のワークステーションを使える環境があり、コンピュータ通信網・分散コンピュータ等のハードウェアのインフラがすでに構築され、ネットワーク環境が整備されているからです。新型コロナウイルス感染の恐れがあるため、学生は現在、遠隔授業が多くなり、本来の学



夏場に入り、新型コロナウイルスによる影響も、山を越えた感があり、生活様式にも変化が訪れつつあります。学生の皆さんは、気を緩めることなく、自己管理に努めて、節度ある行動で、この難局と上手に向き合っていたいただきたいと思います。特に、就職活動をしている全ての皆さんが、来春、新社会人として、晴れて第一

習環境を享受できていません。入学したばかりでパソコンを持っていない学生にはパソコンを貸し出して遠隔授業を受講できるようにしています。

5月の連休には、普通通りに生活がしづらくなっている学生を支援するために教職員が持ち寄った食料を学生向けに配布しました。また、6月には学生生活支援寄附金により経済的支援を実施することができました。ご支援いただきました皆様に改めて感謝申し上げます。

今を生きる学生は、インターネットや携帯電話に親しみ、地球規模で人やお金、情報が行き来する時代に生きています。会津大学では、どのような状況下でも、今世界で起きている問題を解決して何事にもフレキシブルに対応できる学生を育てようとしています。今回のコロナ禍は、これまでの常識を覆す危機です。生きている限り、ピンチをチャンスに変えて、新しい時代の中力強く生きていけるよう、勉学に励んでほしいと思います。そのために大学は、責任を持ってできる限りの支援を行う所存です。

今後も、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に留意しつつ、感染拡大抑制のための対策を講じたうえで、学内の活動を順次再開してまいります。

歩を踏み出せますよう願っております。

今春、教育力の高さを重視した「日本版大学ランキング」が発表されました。この中で、会津大学は、4年連続で上位にランクインされました。(評価対象282大学の中での24位)

こうした評価や注目度も反映されてか、昨年、夏のオープンキャンパスでは、コンピュータに興味を抱く高校生やその保護者の方々が会場は大盛況でした。大学説明会や体験授業は熱気にあふれ、参加した皆さんは、会津大学での学びの魅力やキャンパスライフを

大いに実感していました。

そして今春、会津大学の一般入試では、志願者がこれまでの過去最高となり、この難関を突破した新入生の皆さんたちは、“最新”のコンピュータ理工学を学ぶことができるということに胸を躍らせていることでしょう。残念ながら、新型コロナウイルスの問題もあり、従前どおりとはいきませんが、ぜひ、一人一人が目的意識を持って、最高のICT技術を身に付けていただきたいと思えます。

また、充実した大学生活を送れるように、この問題

が一日も早く、収束の日を迎えることを願っております。

最後になりましたが、会津大学長が岡学長から宮崎学長に変わりました。岡学長におかれましては、これまで大学の発展にご尽力されるなど、たいへんお疲れさまでした。宮崎学長におかれましても、名実ともに世界に開かれた会津大学の地位確立に向けて、大いに期待を申し上げます。

後援会といたしましても、この状況のなかで、大学と連携しながら、より充実した支援を進めてまいりますので、今後ともご協力をお願い申し上げます。

学位記授与式 (2019年度)

2020年3月19日(木)、学位記授与式が執り行われました。コンピュータ理工学部卒業生197名、大学院博士前期課程修了生54名、大学院博士後期課程修了生2名、計253名を代表して、学部卒業生の仁井田義隆さんが答辞を述べました。

また、在学中に優秀な成績や研究の成果を修めた学生の表彰が行われました。

学長賞	仁井田義隆 (学部)
	園家俊 (博士前期課程)
優秀賞	星桃子 (学部)
	小笠原匠 (学部)
	室井孝太 (博士前期課程)
公益財団法人会津地域教育・学術振興財団表彰	廣田智也 (学部)
	納谷かごめ (博士前期課程)
電子情報通信学会東北支部表彰	桑名絢士 (学部)
情報処理学会東北支部学生奨励賞	粟森達朗 (学部)
電気学会東北支部優秀学生賞	春日勇太 (学部)



新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から規模を縮小して開催し、保護者の皆さまにはご同席いただくことができませんでした。このような中でしたが、学生の皆さんは晴れやかな巣立ちの日を迎えました。

入学式について (2020年度)

2020年度は、学部248名、博士前期課程48名、博士後期課程3名、計299名が入学しました。

入学者及びご家族の皆様におかれましては、新しい門出となる入学式を楽しみにされていたことと思いますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、皆さまの健康と安全の確保を最優先とする措置として、式典が中止となりました。

在学生表彰（成績優秀者）

2019年度の各学年の成績優秀者を表彰しました。会津大学では、GPA(*)による成績評価を導入し、学部の各学年の上位3名を表彰しています。（*Grade Point Average：大学における成績評価方法の国際標準であり、就職や大学院進学、海外留学の際に活用されています。）

学年（2019年度）	成績優秀者		
学部1年	高橋 輝	星野 結水	滝口 裕斗
学部2年	伊藤 亮哉	菅野 大貴	村上 弥夢
学部3年	村木 匡弥	ピア シンチアン	松尾 祐飛



←2020年3月30日(月)：岡学長(当時)より、表彰状と副賞(図書カード)を贈呈。後列右端は東原学生部長(当時)。同左端は大津山学生副部長。



↑2020年4月6日(月)：金子学生部長(中央)より、表彰状と副賞を贈呈。マスクを手に記念撮影。

学生の活動紹介

Aizu Active Association(以下AAA)代表、学部4年の嶋原俊樹と申します。私の所属するAAAは「学生のやりたいことをアクティブに実現する」をテーマに活動していて、4月や5月のコロナウイルスによる自粛期間中も何か活動ができないかとAAAで考えていたところでした。そこで、「コロナウイルスにITで立ち向かおう」というハッカソンに参加した際に作ったアプリが「福島テイクアウトマップ」です。

もともと会津若松は東北で仙台に次いで2番目の飲食店街です。飲食業全体の年業界売上高は126億円(最新データ:2016年)にも及ぶと予想されていて、そんな会津若松の飲食店経営者のためにAAAで何かできないかと考え、福島テイクアウトマップの開発に取り組みました。福島テイクアウトマップは福島県内のテイクアウトをしている飲食店のプラットフォームアプリで、飲食店経営者が自らテイクアウトの情報発信ができます。マップで店舗一覧を見ることができ、コロナウイルスの影響もありあまり外出ができない状況だったので、開発の中では会津若松の飲食店の情報を集めることや、アプリの情報更新のシステムについて考えることに苦労しました。開発者だけでなく、経営者や一般の方もアプリに情報を反映できるようにするために技術的に工夫する必要があり、GoogleFormとJavascriptを用いて自動的に反映される仕組みを作りました。

ハッカソンはnoteに記事を投稿して、ユーザーからのいいねを含め総合的に判断する評価方式でした。5月頭の早急なリリース、また公式Twitterでの宣伝の効果もあり、我々AAAの福島テイクアウトマップは約200いいねをもらい、優秀賞をいただくことができました。

AAAは常に学生の「やりたい」を実現するために活動しています。学生時代は時間がありますが長いようで短いです。学生時代により多くの「やりたい」活動をするのがAAAなので、興味のある方はぜひ公式HPをチェックして応援していただけると嬉しいです。

<https://fukushima.glideapp.io/>



海外派遣留学支援事業について

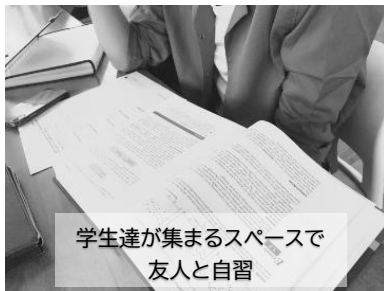
2019年度中期派遣支援事業でアメリカに留学した、2名の学生の研修報告を紹介いたします。

派遣先: ローズハルマン工科大学(アメリカ インディアナ州)

<研修報告> 上野 司さん (学部4年次に留学)

2019年8月から2019年11月までの約3ヶ月間、ローズハルマン工科大学(以下、ローズハルマン)に中期留学をしました。私はアメリカでトップレベルの大学であるローズハルマンで授業を受けることで、自分のエンジニアとしてのITスキルと英語力を高めたいと思い、この大学に留学することを決心しました。

ローズハルマンに到着してから1週間ほど、私と同じような交換留学生と一緒にオリエンテーションを受けました。この1週間は私の英語力の低さを感じ、また履修する授業を登録するのにかなり時間がかかり、この先の生活に大きな不安を抱いていました。



学生達が集まるスペースで友人と自習

授業が始まってからはとにかく課題が多く、目まぐるしい毎日でした。私はWebプログラミング、統計、そして英語の授業を2科目受講しました。一つの授業の生徒数が少なく、教授だけでなく生徒も積極的に議論していた光景は日本ではなかなか見られないものだなと感じました。私もそれに触発され、できるだけ議論するよう心がけました。英語の授業では学生により多く英語を話してもらうために、ネイティブの学生に対してインタビューをするという課題が多く出されました。

また、ほとんど全ての授業で、チームプロジェクトが課されました。これらのプロジェクトを通じて、効率の良い役割分担やチーム内で議論する力が身についたと思います。



ローズハルマンの友達と日本食レストランでの食事

この留学で私が学んだことは、様々な人と話すことの大切さです。この3ヶ月で多くの価値観に触れることができました。多くの価値観に触れることによって自分の世界を広げることができ、また改めて自分の価値観を見直すことができました。今後

もローズでハルマンで培った経験を生かして精進していきたいと思っています。

新型コロナウイルスが蔓延している状況下で、アメリカで出会った友達とチャットなどを通じて励まし合っています。今は渡米や留学をするのは厳しい状況ですが、この留学で出会った友達は一生ものの友達になると思います。状況が改善したら学生のみなさんにはぜひ留学にチャレンジして欲しいと思います。

<研修報告> 星 裕也さん (学部3年次に留学)

私は協定校であるローズハルマン工科大学(以下、ローズハルマン)に、約半年間(2019年8月~2020年3月)留学をしました。私は入学時より、将来海外でも働けるような人材になりたいという目標を持っており、1年生の時にニュージーランドへの短期留学に参加し、2年生の時にはシリコンバレーでの海外インターンシップ等に挑戦しました。



チームプロジェクトでの成果物

ローズハルマンはエンジニアリングの部門でとても有名な大学であり、英語力・技術力共に不安はありましたが、この恵まれた環境で半年間挑戦し続けることは必ず自分の糧となると確信し、3年生の半年間この留学プログラムに参加しました。

ローズハルマンでの授業はとても質が高く、毎日遅くまで課題やプロジェクトに追われました。しかし、毎日気軽に教授やチューターに質問できるサポート体制が整っており、なんとか授業についていくことができました。学期末にはチームプロジェクトがあり、授業で学んだことをもとに、クラスメイトと大規模な開発を行いました。英語力が十分でなかった私にとって、これらは



友人宅でのホームパーティ

挑戦的で大きな影響を受けました。私はそれまで現地で強い劣等感を感じていましたが、これらのプロジェクトでクラスメイトと対等にディスカッションし、開発を行ったことは自分にとって大きな自信となりました。授業で得た知識、経験はこれからの研究活動、就職活動等に必ず役に立つと確信しています。

友人にも恵まれ、学期終わりの秋休み、冬休みには一緒に旅行に行ったり、友人の実家にホームステイしたりしました。ここでは家族のように受け入れてくれて、アメリカの伝統的なイベントやホームパーティなどに招待されました。たくさんのお会いがあり、すべてが一生の宝物です。

会津大学はローズハルマンと強い提携があります。会津大学と現地のオフィスから手厚いサポートを受け、2020年3月に無事留学を終え、帰国することができました。会津大学ではこのように留学体制が整っていますので、海外に興味がある学生は検討するべきだと思います。



ローズハルマンの友人たちと食事

学生会の紹介

こんにちは、学生会執行部です。

私たちは学生会員がより良い学生生活を送ることができるように、日々活動しています。

2019年度の主な活動

◎ 学生会総会運営

学生会総会とは、学生会の意思決定に対する最高機関であり、学生の学生生活における決め事を審議し決定する場です。主に、その年の予算や決算、会則などについての審議をします。また、学生会員からの意見や提言を取り入れる場としても開催されます。私たち執行部は学生会総会の開催、告知、運営を行っています。毎年、4月に昨年度の決算総会、5月に今年度の予算総会が行われます。

◎ イベント運営

学生会執行部では、毎年4月に新入生歓迎会、12月にはクリスマスパーティーを開催しています。新入生歓迎会はサークルや部活の紹介イベントがあり、新入生と上級生の初めての交流の場となっています。クリスマスパーティーは音楽サークルやダンスサークルのステージ発表とともに食事・お菓子を楽しむ立食スタイルのイベントになっています。このどちらのイベントでもビンゴ大会を行っており、毎年たくさんの学生が参加しています。



クリスマスパーティー

学園祭実行委員会の紹介

こんにちは！学園祭実行委員会です。

私たちは10月10日(土)、10月11日(日)に開催される学園祭に向けて活動しています。

昨年度は台風の影響で開催できませんでしたが、今年度は例年と異なる方式で学園祭を開催したいと思います！

◎ オンラインでの学園祭の開催

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、例年通り、学内にお客様をお迎えすることができなくなりました。そこで、オンラインでの学園祭を開催することにより、より多くの方に学園祭を楽しんでいただこうと考えました！

会津大学ではもちろん、全国でも例が少ない試みではありますが、みなさんの自粛生活に少しでも楽しみが生まれるよう精一杯頑張っていきます！

◎ オンライン学園祭のお知らせについて

オンラインでの開催にあたり、YouTubeチャンネルを開設することになりました。そのチャンネルで当日配信を行う予定です。また、配信の他にも会津大学のサークルなどのPR動画の配信も行う予定です！今後は学内メールやHP、SNSなどを用いて情報を発信していきます！

今回、一風変わった学園祭をお届けすることになります。みなさん是非お家で学園祭をお楽しみください！



修学支援室より

修学支援室は、講義や演習だけでは内容を十分に理解できなかった際に、先輩に相談・質問できる場です。支援室には、本学卒業生が務める修学支援員及び、大学院生・学部生によるアシスタント(TA・SA)が待機し、数学系科目からコンピュータ系科目まで幅広く対応しています。

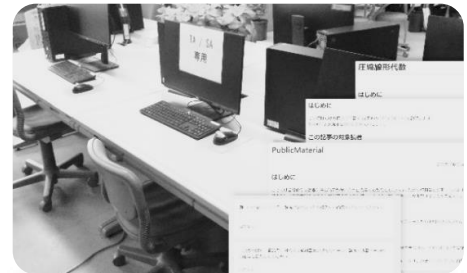
1年生はもちろん、多くの2、3年生の皆さんも利用しています。パーティションで区切られた自習室も備えていて、それぞれの学生にあった形で利用できるようになっています。

◆ オンライン化への取り組み

新型コロナ対策のため学内への立ち入りが一時期制限されましたが、そのような状況であっても学業のサポートを行うために様々な検討を行いました。

実際におこなった取り組みとして、まずメールでの質問対応を開始しました。加えて授業で難しく感じた箇所についてアンケートを実施し、重要度の高いものについてはweb上で解説記事の公開を開始しました。

今では対面での授業の再開に伴い、修学支援室へ来室する学生が多くなりましたが、利用者の利便性向上およびTA・SAの新しい働き方の模索のためこれらの取り組みについては今後も継続する予定です。



修学支援室 (研究棟2階 246E)

- 電話: 0242-37-2758
- Email: ofls@u-aizu.ac.jp



◆ 履修相談会

科目の履修、進級等に関わる規程がここ数年で大きく変更され、自分の単位取得状況等に不安を感じている学生も少なくありません。そのような相談に対し、情報の提供及び今後の履修計画の提案などもおこなっています。

◆ 臨時開室

期末テスト期間前には、日曜日に修学支援室を臨時で開室しています。授業で忙しく普段は修学支援室に来られないときや、休日に誰かに質問したいことがあるときなど、学生が利用しやすくなっています。

保健室(看護師)・学生相談室(カウンセラー)より

保健室 (研究棟1階 148)

- 電話: 0242-37-2517
- Email: nurse@u-aizu.ac.jp



学生相談室 (研究棟2階 252)

- 電話: 0242-37-2610
- Email: counseling@u-aizu.ac.jp



新型コロナウイルス対策で、大変な新学期の幕開けとなりました。

大学は当面休校、授業の大半は遠隔で行われる中、学生の皆さんが気軽に読めるメールマガジン『会津大〇日』を刊行しました。〇には、今年度が始まって何日経ったのかが入り



ます。少しずつ増える日数を見て、少しずつ前進してってもらいたいという気持ちがこもっています。

下記のURLから『会津大〇日』をご覧ください。ぜひ、ご一読ください!

<https://support-u-aizu.blogspot.com/2020/05/20th-day-in-uoa.html>

就職支援室より

現在、日本に限らず世界的な傾向として、コンピュータ技術に携わる人材が各業界のあらゆる分野で必要とされています。

会津大学は、まさに IT エンジニアの仕事で活躍できる人材の育成を目指している大学で、その実績が社会的に評価されて高い就職率につながっています。

就職支援室では、学生に最新の企業データを提供するとともに、個別の進路アドバイスをを行っています。

対面による相談はもちろんのこと、より学生が利用しやすいように、リモート対応（電話・メール・オンライン面談）も実施しています。



◆ 対応できること

- ◆ 進路・就職相談・インターンシップ など
- ◆ エントリーシート・履歴書添削・アドバイス
- ◆ 面接対策、面接練習
- ◆ その他 お気軽にご相談ください

就職支援室（学生ホール 2 階）

● 電話：0242-37-2790

● Email: career@u-aizu.ac.jp



2019 年度 就職・進路状況について

後援会では、各種資格試験（情報処理技術者試験、TOEIC）の奨励金を支給するとともに、就職活動交通費・宿泊費について補助を行い、学生の就職活動を支援しています。

2019 年度進路決定状況（2020 年 5 月末現在）

◆ 就職状況

	進路希望	決定者数
民間企業	148	145
県内	26	26
県外	122	119
教員	5	5
公務員・団体等	4	4
起業・家業	1	1
合計	158	155
就職率	98.1%	

◆ 進学状況

	進路希望	決定者数
本学大学院	38	38
他の大学院	2	2
海外の大学院	0	0
合計	40	40

主な就職先（一部抜粋）

【県外】

ANA システムズ、NEC プラットフォームズ、NTT 東日本、アクセンチュア、伊藤忠テクノソリューションズ、サイバーエージェント、ソフトバンク、チームラボ、鉄道情報システム、本田技研工業、三菱自動車エンジニアリング、三菱電機インフォメーションシステムズ、ヤマハ発動機、リクルート、リコージャパン、ルネサスエレクトロニクス、京セラコミュニケーションシステム、住友化学システムサービス、日商エレクトロニクス

【県内】

会津商工信用組合、アルパイン、エフコム、白河オリンパス、信越半導体白河、東邦情報システム、福島キャノン、福島県、福島情報処理センター、福島太陽誘電株式会社

2020年度 後援会活動について

後援会では、学生の健全で快適な学生生活を支援するため、福利厚生事業、学生会・学園祭実行委員会への助成、就職活動支援など様々な事業を実施しています。

2019年度決算及び2020年度事業計画・予算につきましては、2020年度後援会総会（※書面協議）において下記のとおり承認されました。（※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020年度入学式と同日に開催を予定していた後援会総会も中止となりました。これにより本年度の総会については書面協議により実施いたしましたのでご了承ください。）

2019年度決算

1 収入科目	決算額(単位:円)
会費	13,100,000
雑収入	5,475
バス利用料	92,000
繰越金	5,032,083
計(a)	18,229,558

2 支出科目	決算額(単位:円)
会議費	30,607
事務費	671,787
事業費	11,341,705
学生課外活動助成費	6,000,000
厚生及び進路対策費	3,944,667
研修等助成事業費	516,763
スキルアップ奨励事業費	880,275
記念事業積立金	500,000
予備費	0
計(b)	12,544,099
当期収支差額 (a)-(b)	5,685,459
次期繰り越し	5,685,459

2020年度事業計画

時期	事業概要
2020年	4月～翌3月 クラス活動助成事業
	4月～翌3月 新入生クラスミーティング運営補助
	4月～翌3月 TOEIC テスト支援・受験促進事業
	4月～翌3月 就職活動交通費・宿泊費補助事業
	4月～翌3月 ボランティア活動費補助事業
	4月～翌3月 研修等助成事業
	4月～翌3月 スキルアップ奨励金事業
	4月～ 朝食定期券補助
	6月～ 健康診断緊急補助事業(教職課程)
	7月 学生会・学園祭実行委員会への助成
2021年	8月 後援会だより(第44号)発行
	3月 後援会だより(第45号)発行
	3月19日 第3回役員会
3月19日 卒業記念パーティ	

2020年度予算

I 2020年度会津大学後援会予算

1 収入科目	予算額(単位:千円)
会費	15,942
雑収入	1
バス利用料	90
繰越金	6,043
計	22,076

2 支出科目	予算額(単位:千円)
会議費	150
事務費	700
事業費	17,480
学生課外活動助成費	6,000
厚生及び進路対策費	6,520
研修等助成事業費	550
スキルアップ奨励事業費	1,100
TOEIC テスト受験促進事業	3,200
健康診断緊急補助事業	110
記念事業積立金	500
予備費	3,356
計	22,186

II 2020年度記念事業積立金予算

1 収入科目	予算額(単位:千円)
積立金	500
雑収入	1
繰越金	3,470
計	3,971

2 支出科目	予算額(単位:千円)
該当科目なし	0
計	0

2020年度後援会役員

役職	役員	
名誉会長	宮崎 敏明	
会長	杵鞭 正光	
副会長	高宮 誠	國分 文子
監事	五十嵐 哲朗	生亀 和行
委員	日下部 久一	渡邊 寛史
	川島 真由美	五十嵐 敏之
	兼子 康弘	湯田 由美
常任委員	永田 嗣昭	